

2018年9月卒業生アンケート結果

2018年9月に本学通信教育部を卒業された方を対象にアンケート調査を実施しました。学習の参考・励みにしていただければ幸いです。

また、ご協力いただいた卒業生の皆様に厚く御礼申し上げます。紙面の関係ですべては掲載できませんでしたが、ご了承ください。通信教育部ホームページでは、専門的な考え方の理解度の主観的な把握である「学びの振り返りアンケート」や、大学卒業生が一般的・汎用的に身につけておいてほしい力である「学士力」の達成度の主観的な把握の結果もあわせて公表しています。よろしければご覧ください。

●卒業生の概要

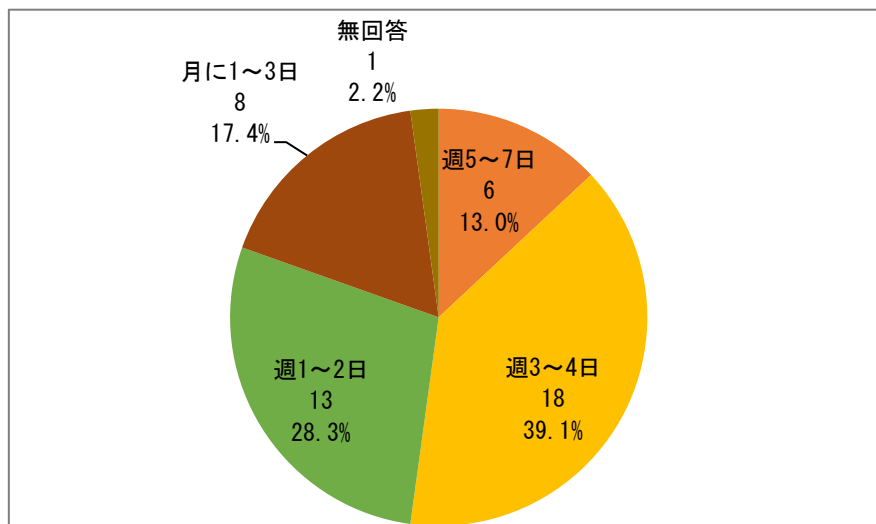
2018年9月の卒業生は、64名（社会福祉学科48名、福祉心理学科16名）で、4月入学が8名、10月入学が56名であり、1年次入学が13名、3年次編入が51名でした。

●アンケート集計結果

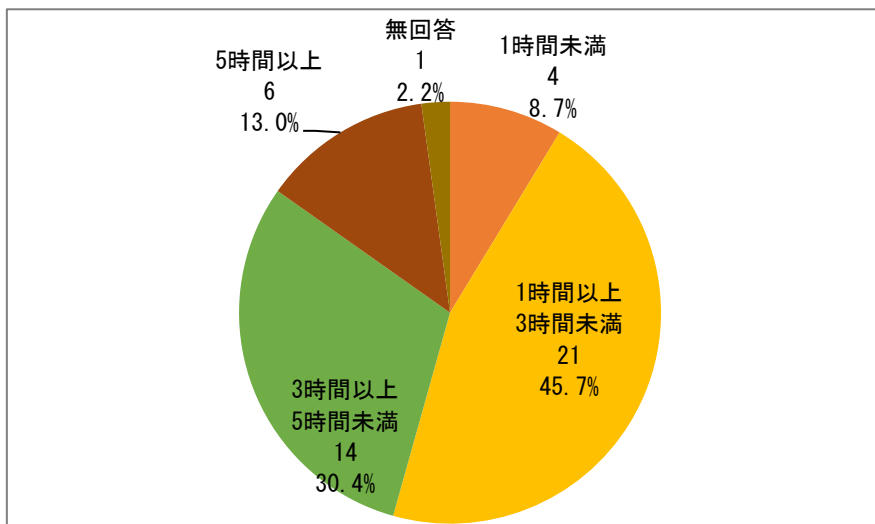
今回の卒業生アンケートは卒業生64名中46名（社会福祉学科35名、福祉心理学科11名）から回答をいただきました（回収率71.8%）。

1 学習頻度や学習時間についてお聞きします。

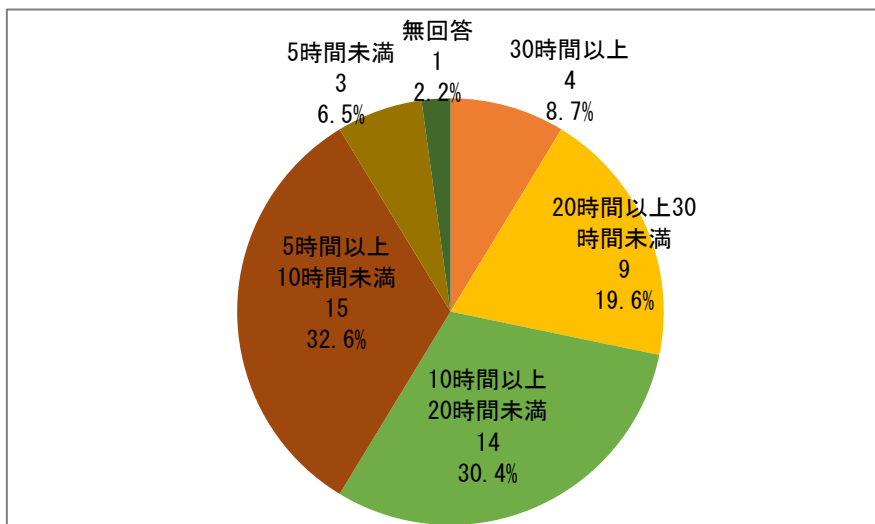
1) 学習の頻度はだいたいどれくらいですか。



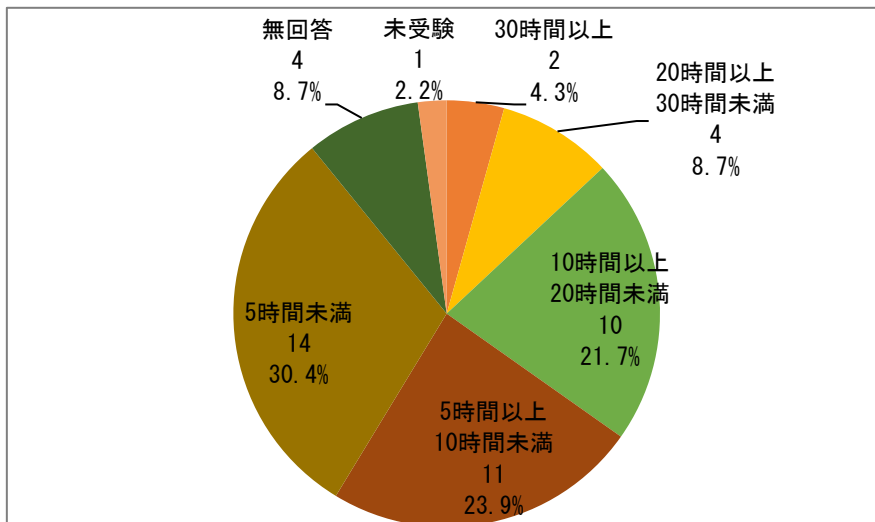
2) 学習する日の1日の学習時間は平均してどれくらいですか。



3) 1単位分のレポート（論述式のもの）が完成するまでに要する平均時間はどれくらいですか。

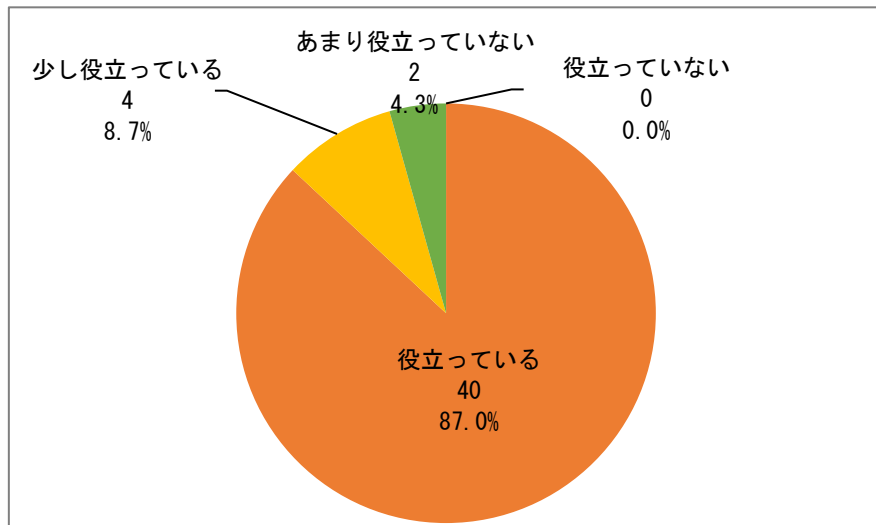


4) 1科目の科目修了試験準備に要する平均時間はどれくらいですか。

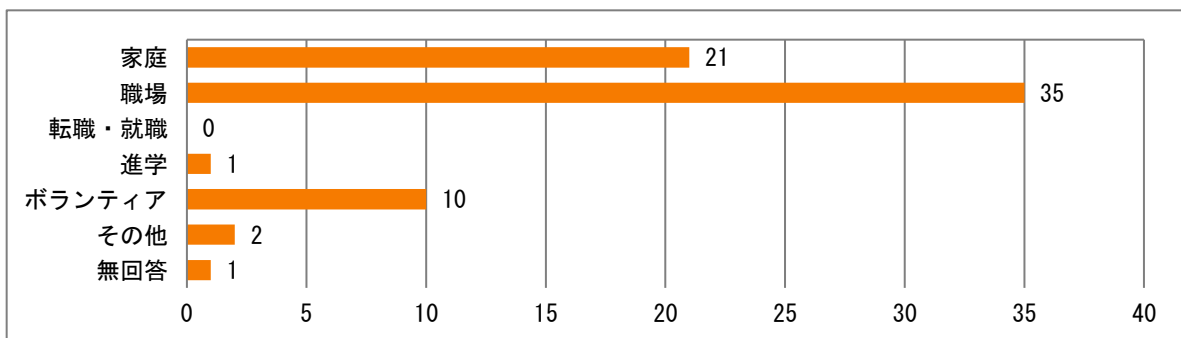


3 学習の成果の活用についてお聞きします。

1) 通信教育部で学んだ内容や得た資格は、職場や家庭などで役立っていますか。一番あてはまる項目を選択してください。



2) 通信教育部で学んだ内容や得た資格をどこで役立てていますか。または、今後どこで役立てていきたいですか。あてはまる項目をすべて選択してください。(複数回答)



【社会福祉学科 卒業生より】

(全般的に役立っていること)

- ・就職、職場での仕事、コミュニケーションなど、自分の考え方や生活、遊びにも役立っている。
- ・人々の多様な生活を理解しようとする姿勢は、人を理解する上で重要であり、偏見や差別をせずにかかわるという自覚ができた。
- ・仕事や日常生活の中で、相手の気持ちや思いを考え話を「聞く」から「聴く」ことを意識している。
- ・現在の仕事に関連する制度について説明ができることでお客様から信頼され相談されることもある。

(仕事で役立っていること)

- ・相談援助専門職としてクライアントとかかわる際にとても役立っている。
- ・家族などを通し見聞きする生活上の困りごとについて、学びから得た知識を生かしつつ当事者及び家族の気持ちを鑑み、多角的に考えた上で、具体的に活用できそうな資源や解決策を情報の一つとして提供することに結びついている。

- ・障害者相談支援専門員の業務において、制度や疾病、受容することの大切さを理解し、支援する際に役立てています。
- ・クライアントと面談する際の技術、アセスメントやプランニングの仕方等に役立てている。社会資源の活用等についても参考になっている。
- ・相手とかかわる際、相手や自分の価値観を意識しながら押し付けの支援にならないようにしている。
- ・現在ショートステイで介護のパートをしているが、今まで高齢者福祉の勉強ばかりだったので福祉には大学で学んだような別の世界もあるのだととても新鮮です。利用者さんと話すときにバイステックの原則を役立てています。
- ・介護職のため、利用者様の心に寄り添うケアを心がけ、相談援助後術を活用し共感的態度で傾聴するように努めている。利用者様本人やご家族様への直接的提案は職務上行わないようにしているので、社会福祉制度に関する知識を同僚に対し情報提供することで、利用者様のニーズ充足につなげている。
- ・職場で介護予防教室を任されており、参加されている方の相談を受けることができるようにしたい。
- ・現在の職（就労支援）の対人援助に役立った。
- ・自営の社会教育事業における、小・中学生への対応に役立っている。
- ・社会福祉法人の経営や人材育成に役立てている。
- ・職場の他機関の福祉職員の方に通信教育で学んでる旨を告げると、比較的早く信頼関係を気づくことができた。
- ・職場の上司、同僚から信頼して頂き、自身も確信をもって支援していくことができるようになった。

（地域・ボランティア活動のなかで役立っていること）

- ・実習でお世話になった事業所でボランティアをしています。利用者や家族と接する機会もあり、コミュニケーション力がさらに身につくよう努めています。
- ・生涯学習という考えをもって勉強に取り組むようになり、今後もケアマネなど様々な資格にチャレンジしたいと思うようになった。毎日コツコツと勉強する事やすきま時間をうまく活用し、卒業後も国家試験に向けて励んでいきたい。

（家庭で役立っていること）

- ・母親、兄弟からなぜか賞賛され、褒められるようになった（理由ははっきりわからない）。

（これから生かそうとしていること）

- ・想定外であったが10月1日より社会福祉協議会で働くことになったため、地域福祉ほか学んだことが大いに役立つと思われる。
- ・精神保健福祉士は取得しているので、精神の分野以外の広い福祉分野でも活躍できるよう役立てたい。
- ・職場が独居高齢者が多い公営住宅に隣接しているため、様々な課題を抱えている方たちが相談に訪れる。一緒に問題解決の手助けができるようになりたいと思います。
- ・現在の職（就労支援）で、支援対象者が健康で安定した生活を送れるように、的確な就労支援を行っていききたい。
- ・障害者の就労支援（特に一般就労）。

- ・助けを訴えることができない人にも目を向け、その人らしく生活できるようその方に寄り添った支援をしていきたい。
- ・起業して地域貢献を考えている。
- ・社会貢献活動の一環として新規事業の開拓に役立てたい。また、地域連携にも積極的に取り組みたい。
- ・学んだ知識を実践に活かしていきたい。
- ・現在役立てていることを、専門職として職に就き実践として活用したい。
- ・就職して、利用者との信頼関係形成や問題解決の進め方など、知識だけでなく実習や演習で身につけたことを活かしたい。また、レポート学習で身につけた文章化する力や集中力を職場での連絡調整や連携に活かしたい。
- ・社会福祉士、精神保健福祉士合格に向けて学んだ知識を活かしたい。
- ・精神保健福祉士の資格を取得することで今後の業務への自信につなげたい。
- ・資格取得後、再度希望の職種に再就職したい。学びを通して身につけたことを活かし、以前とは違う意識で仕事がしたい。
- ・社福士の資格取得後は高齢者福祉論や障害者福祉論で学んだことを相談員の仕事に役立てたい。
- ・もっと深めながら役立てていきたい。
- ・社会福祉士取得を目標にし、ソーシャルワーカーとして勤務できるよう活動していきます。
- ・資格を取得してより一層お客様の役に立てるようになりたい。
- ・科目等履修生としてさらに1年間勉学に励んで資格を取得し、転職を希望している。
- ・仕事を主に自身の老後にも役立てたい。
- ・家族の人間関係が良好になるように、対人援助を研鑽していきたい（現在も良好だが、より一層）。
- ・職場、地域住民の地域福祉に貢献していきたい。
- ・友人・知人の接し方を考慮し、良い関係性が築けるようにしていきたい。
- ・現在の勤務先では大学卒業資格は特に必要ないとのことで評価はされませんでした。自分の中で引っかかっていたものがスッキリしたような気持ちで、頑張っただけよかったと思っています。

【福祉心理学科 卒業生より】

（全般的に役立っていること）

- ・心理学的に何が物理的ストレスか考え自分のストレスに対処できるようになった。
- ・人への共感力が増しコミュニケーションが以前より少しうまくなった。それにより人への理解が深まり、周囲との人間関係がより良くなった。
- ・チームとして成果やより良い効果を出すために、集団心理や個人のやる気を引き出す理論などを活用したい。自分自身の今後のターニングポイントで、客観的に自分を見つめ直すことを心がけたい。

（仕事で役立っていること）

- ・精神科病院で作業療法士をしているが、患者のアセスメントの際、生活背景や家族関係も含め広い視野で評価し今後の生活に向けての訓練や活動を提供できるようになり、方向性を見失うことが少なくなった。

- ・職場での相談、診察の補助として心理的ケアや子どもへの対応を支援している。
- ・相談業務において傾聴を中心に、カウンセリングの授業で教えていただいたことを実践している。家族心理学の授業で解決志向アプローチの基本に出会ったことも業務に役立っている。
- ・現場の必要性に応じて簡単な心理検査を提案または実施し、医師を補助したい。DLB 見落としは結構多いので。
- ・児童発達の事業所で保護者や子どもの気持ちを理解しながら支援していきたい。
- ・保育所において、気になる子や障害児、その保護者に対して各問題解決へ向けて役立てたい。

(家庭・ボランティア・その他で役立っていること)

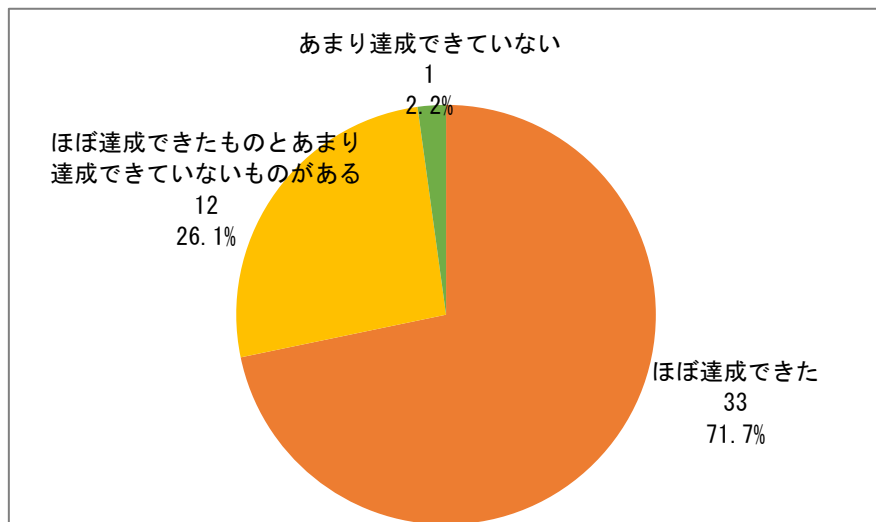
- ・高齢者の心理や行動傾向、高齢者福祉等を学ぶことによって、要介護認定を受けている義父母や軽度の認知症の母に対する態度や考え方が寛容になった。また多岐にわたる福祉サービスの中から通所・買い物支援等を選択し利用するなど、何でもしてあげるのではなく、尊厳やこれまでの生活を大切にしながら自律生活を支援するという姿勢がとれるようになった。
- ・娘世帯（2世帯同居）や近隣に住む義父母、また近隣の方達などと円滑で円満な人間関係の形成に役立っていきたい。また保育士の資格やカウンセリング演習等の経験を生かし、また学習を続けて「カウンセリングもできるおばあちゃん」（佐藤先生が講義で「カウンセリングもできる〇〇」を目指してくださいとおっしゃっていました）となり、孫守り（娘の復職後）をしながらさりげなく若い迷えるママさんに対して子育て支援ができればいいな…と考えている。

(これから生かそうとしていること)

- ・可能性としては高くはないが、将来公認心理師の資格を得たい。
- ・臨床心理士を目指したい。

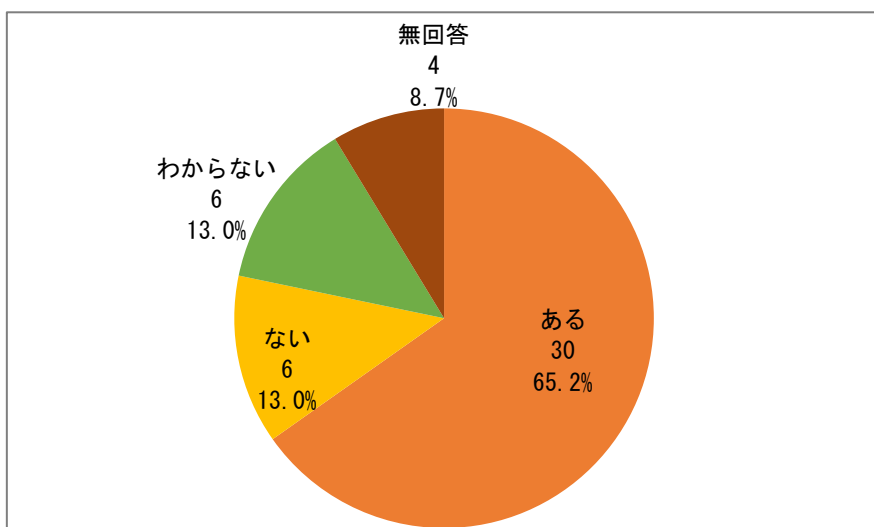
4 入学時の目的についての現在の達成度などを教えてください。

1) 入学時の目的は卒業時の今達成できたとお感じですか（国家試験受験資格取得は含む・可否に関しては除く）。



※入学時の目的の中で「あまり達成できていない」と感じるものとしてあげていただいた内容につきましては、今後の通信教育部の教育カリキュラム改善の参考にさせていただきます。

3) 入学時の目的には想定していなかったことで、通信教育部で学んでよかったと感じていることはありますか。



4) 上記3)で「ある」と答えた方は、可能ならばその内容を教えてください。

【社会福祉学科 卒業生より】

- ・通信教育は孤独な時間も多いが、スクーリングを通して”一緒に学んでいる”と感じられる友人ができ、色々なことを相談できる先生とも出会うことができました。このような”人”とのつながりは想定外で、この学校を選んでよかったと心から思っています。
- ・演習などで一緒に学んだ方々が様々な職種だったため各自の意見を聞くことができ勉強になった。
- ・生徒の年齢が様々で、学ぶことに限界はないと実感できた。講師の先生方の福祉に対する熱い思いを感じることができ、たくさんの刺激を受けた。
- ・仙台でのスクーリングでは東北の方が多く、震災と福祉の話がたくさん聞くことができ遠くでも行ってよかった。
- ・オンデマンドでの学習も自分のペースで楽しく学ぶことができました。また、スクーリング参加で友人も出来てよかったです。

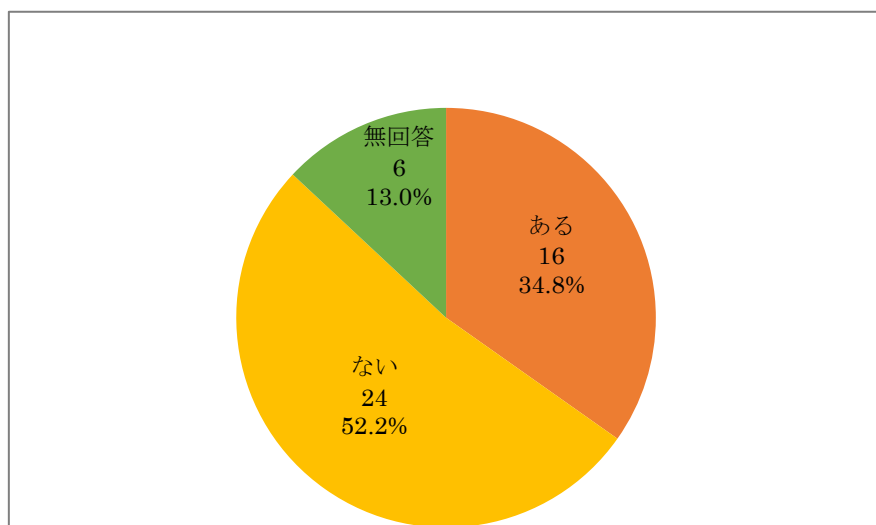
- ・社会構造や経営、心理学など根拠のある学びを通して自身の質的向上につながっていると思う。
- ・物事の捉え方や考え方を見ることができるようになったことや、自分自身を他者の方により見ることができるということを学ぶことができたことがとてもよかったと感じている。
- ・様々なケースを「我が事」として考えることができ、学ぶことが時に癒しとなることがあった。学んだ内容や抱いた感情を文章化する習慣により、自分の考えを理論立てて他者に伝えることが以前よりもうまくできるようになったと感じる。
- ・福祉に関して、何気なくやっていた私の誤った言動に気がついたこと、障害者の方を講師として採用されていることに、さすが福祉大だと感動しました。
- ・入学前は障害者やコミュニケーションがとりづらい人に対して、偏見や毛嫌いする傾向があったが、偏見がなくなり、問題や課題を抱えている人に対してどうアプローチすればよいのか、考えて話すようになった。
- ・ニュースで流れている社会問題を少しだけ理解できるようになった。

- ・子どもに関するスクーリングのビデオなどで、考えていた以上に深刻な問題を抱えている子がいることに驚きました。
- ・なぜか身の上話や家族の人間関係、仕事の愚痴を言いにくる人が増えて、傾聴を心掛けているが、精神的に疲れてしまうことが増えた。
- ・教員資格のほかに国家資格にも目を向けられたこと。
- ・防災士の資格を取得することができた。
- ・学んでいくうちに入学時には考えていなかった社会福祉士を目指すようになり、実習を経験し、国家試験に向けより一層勉強に励むようになった。
- ・実務（職業）との整合性があり、活かすことができた。
- ・社会福祉そのものについてより専門的に知ることができたこと。
- ・自分が決めた目標を達成することができ、人生のプラスになりました。

【福祉心理学科 卒業生より】

- ・限られた時間の中で自分が計画し実行することは、自分の弱さと対面することであり、自分の心の中を見つめることができた。
- ・学士の資格を得ることが入学時の一番の目的であったが、スクーリングやレポート学習をすすめるうちに科学的な見方・考え方等が身についたという点が良かった。例えば、巷にあふれている情報や他者からの話をうのみにするのではなく、その出所、出典、また科学的な検証や立証等の方法や重要性を学べたことである。
- ・”福祉”の要素がこんなに深く心理学で学べるとは思わなかった。「卒業すること」だけを目指していたので得をした感じ。
- ・公認心理師の受験資格について、移行期間にあるため5年（心理）実務経験があれば大学院を卒業しなくてもよいと知り、かつ仕事をしながら学ぶうちに受験可能実務経験年数に達していたため良かった。

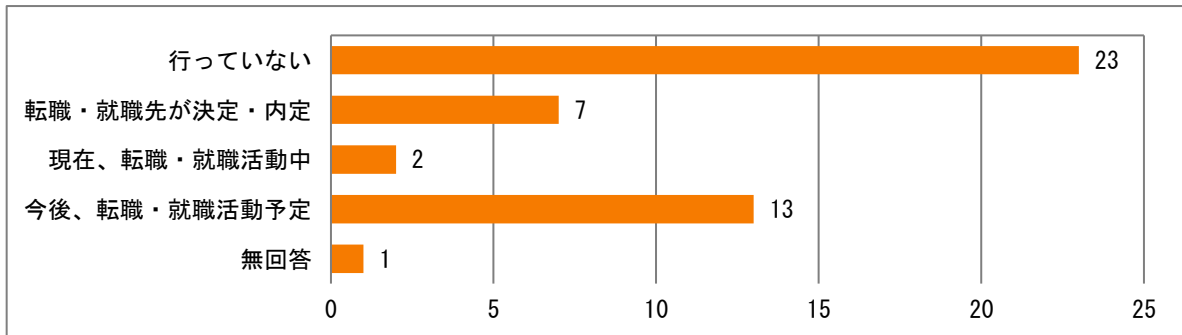
5 通信教育部で学ぶことができればよかったと感じているテーマや科目、学修機会がありますか。



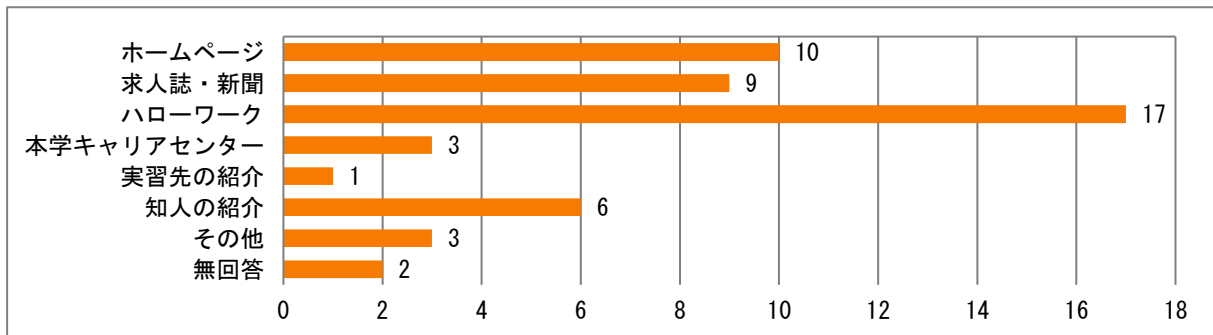
※「学ぶことができればよかった」としてあげていただいた内容につきましては、今後の通信教育部の教育カリキュラム改善の参考にさせていただきます。

6 卒業後の転職・就職についてお聞きします。

1) 通信教育部で取得した資格や学んだことをいかして、転職・就職活動を行っていますか。



2) 上記1)で「行っていない」以外を選択された方にお聞きします。転職・就職先の情報はどのような方法で得ましたか、または得る予定ですか。(複数回答)



【具体的な転職・就職活動の結果や方法について】

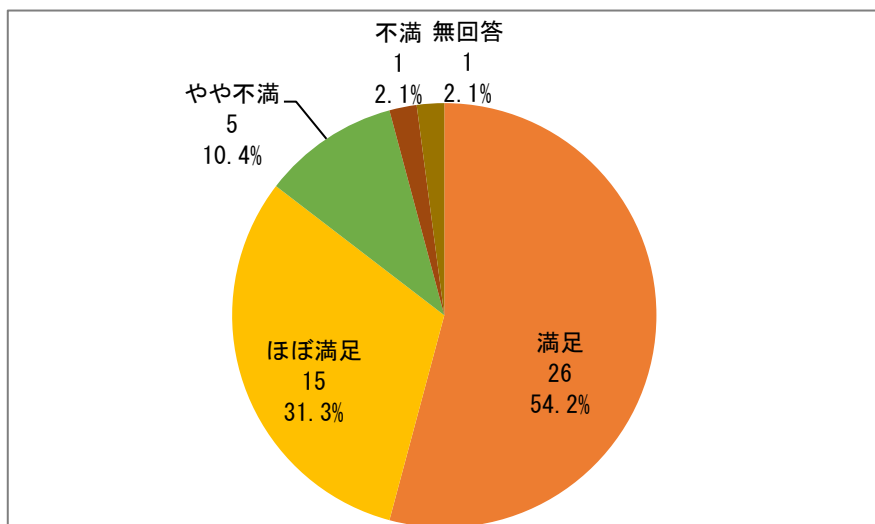
(就職・転職済・内定)

- ・ハローワークの方から、大学で学んでいることや仕事と両立していることなど自信を持つように言われ、現在の社会福祉法人に転職できました。何事も地道に努力することは大切だと思いました。
- ・今春、ある県立施設に採用になりました(もともと相談業務の経験もあり、福祉心理学科卒業見込みということで合格しました)。
- ・自宅から近い高齢者施設で介護パートとして資格なしでも雇ってもらえた。ブラックなところも多いそうですが、日祝休み、土曜は月2回勤務、社保加入で8:30~16:00の6.5Hと自分の希望日数、時間で働くことができつらくありません。
- ・在職中に、その仕事をしている友人から勧められ、学習と平行して準備を行い退職後に転職した。
- ・自分の生き方が変わりとても良かった。体が弱い自分には今の職場の方が向いていると感じる。

(就職・転職・異動活動中)

- ・国見キャンパスのキャリアセンターを利用し、福祉人材センターが行っている説明会に参加したり、ハローワークに行くなどしている。マイナビやリクナビ、福祉人材センターの登録も行い、スマホからいつでも情報入手できるようにしている。
- ・現在の職の任期が5年で満了なので、満了前に応募したい企業があれば、積極的に応募する。

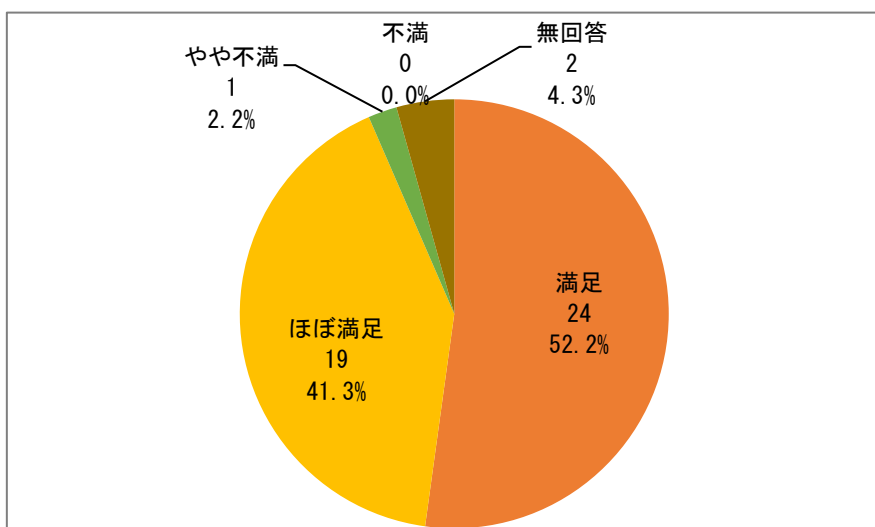
7 通信教育事務部の職員の対応についてお聞きします。職員の対応はいかがでしたか。



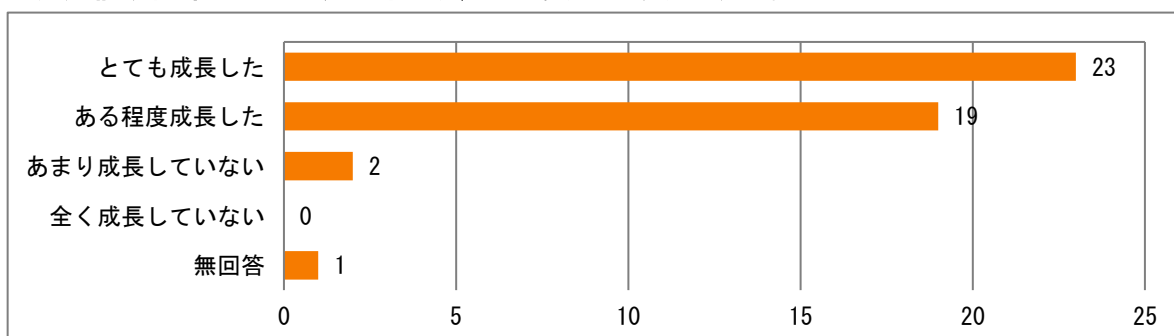
※「不満を感じる」としてあげていただいた内容につきましては、通信教育部事務室の職員で共有し、改善に努めています。

8 通信教育部での学習等について全体的な感想をお聞きします。

1) 通信教育部で学んで満足できましたか。



2) 通信教育部で学んで、自身が成長した実感はありますか。



【本学で学んだ感想、通信教育部に対するご意見・ご要望、在学生へのメッセージなど】

【社会福祉学科 卒業生より】

- ・4大卒の目標を達成することができ自分の中のしこりを解消できました。今後これが評価されるかはわかりませんが、頑張ったことは決してムダにはならないと思います。
- ・学ぶことの素晴らしさ、知識を得ることの素晴らしさ。いくつになっても成長することはできるのだと思う。
- ・レポートは大変でしたが、自分自身の視野を広げることもでき知識も深まりました。素晴らしい友人にも出会えて充実した2年間でした。
- ・1年めはレポートやスクーリング試験がなかなか難しく、目標の半分程度しか単位が取れず落ち込んだり悔しい思いもしましたが、2年め、3年めとレポートの書き方が分かってきたり、スクーリングに毎週のように積極的に参加することで4年間で無事卒業することができました。たくさんの先生方からのアドバイスや授業を受ける中で興味が深まり、社会福祉士を目指すようになり受験予定です。とても成長できた4年間でした。
- ・最後までやり遂げる力、期日を守ること、文章力や知識の向上等、入学前より成長したことが自分でもわかり、気持ちが折れそうになったこともあったが今はとても充実している気がする。
- ・入学してからオンデマンド学習が中心で仙台へ行ったのは半年後でしたが、今思うともっと早くスクーリングに参加していたら、学習計画も立てやすく友人とも交流しながら楽しく学べたように思います。
- ・「福祉とは何なのだろうか」という疑問を持ち、福祉職の知識も経験もゼロの状態です。1年次入学をしました。初めの頃はレポートの書き方やルールもわからず、今見返すと恥ずかしいほどのものですが、オンデマンドやスクーリングへの参加を通じ手探り状態で学びを続けてきました。学びで得たものはとても新鮮で、今では大事な財産です。卒業までの道のりは簡単なものではありませんでしたが、あきらめなければ必ず結果はついてきます。入学動機の疑問への答えはまだはっきりと出ていません。卒業しますが、この疑問を問い続けるべく学びは続けていきたいと思っています。
- ・社会福祉とは何かに全く無頓着だった自分がスクール・ソーシャルワーカー（SSW）を志すことがいかに無謀なことだったかを思い知らされた2年間、それだけ中身が濃いものであったのだと思う。通信教育を始める人はなりたいものや取りたい資格など目的がある。そういう意味からもこの通信教育は自分にとってかけがえのない恩師である。
- ・他の生徒に比べ高年齢での学生なので、福祉の問題は自分にとっても、とても身近なことなのに、勉強して初めてわかったことが沢山ありました。実習の指導者が「福祉はとても奥が深いのです」と何度も仰ったことが印象に残っています。卒業しても学び続ける必要を感じました。また、先進国と言われる我が国の福祉の考え方の水準の低さはとても残念です。「国の政治のレベルは国民のレベル」と言われますが、一人一人が福祉のことを考えて発言、発信することで、良い社会が実現できると思いました。
- ・締切日までにオンデマンド、レポート提出といつも期限に追われて、週末ごとに勉強しており、家族からの外食の誘い、外出、友人と遊びに行く、テレビを長時間みる、DVD鑑賞等、すべて断って、集中して励んでいた。なぜか、つらい、やめてしまいたい、始めなければよかった、と思うことが一度もなく、レポートや実習指導、演習の成績がよかったりすると、とても嬉しかった。母に好成绩を伝えると一緒に喜んでくれ、良い思い出となっている。実習先に恵まれ良い指導員と支援員に巡りあうことができ、社会福祉士の資格取得後もボランティアなどでつながりを持ちたい、と考えている。

【福祉心理学科 卒業生より】

- ・心理学研究法と実験科目を受けたおかげで、今行っている仕事の質を向上させることにつながる考える力が身についたと感じる。
- ・新しい知識、情報を沢山身につけられ、刺激ある学習でした。職員の方々にもよく対応して頂き、孤独感の強い通信教育でも何とか乗り切ることができました。入学後、結婚、出産、大病と様々な経験をし、結果在籍年数が長くなり、やっと卒業が出来ました。途中断念しようかと何度も思いましたが、家族や周囲の協力そして応援があったため、乗り越えることが出来ました。学習に取り組むまで時間がかかり、ほとんどが自分との戦いでしたが、波に乗ってくると学ぶことの楽しさを感じるでき大変有意義な時間でした。本学で学んだことを日々の生活に生かし、さらに自己研鑽を重ねていきたいと思っています。
- ・私の53年間の自分自身の体験や行動が、学習することによってすっきりとファイリングされ整理されたような感じを抱いている。例えば、自分が青年期に「自我同一性の確立」が「早期完了」してしまうまいかできなかったことから、今回の通信大学での学生生活にかつてない充実感を得られたということが理解できた。
- ・スクーリング内で先生方が紹介くださった図書はやはり素晴らしく、必読です。授業を進めていく上で、レポート課題集の参考図書は類似したものを除き、できるだけ多く目を通すようにしました(図書館利用)。自分自身の理解が深まり、レポートが書きやすいです。気に入った図書はネットや古本屋で中古本を購入しました。卒業が決まった今は、急に暇になってしまい、教科書や購入した図書を読み直しています。残業の多い職場でしたが、やる気のみで乗り切りました。皆さんも頑張ってください。

以上です。個別の先生へいただいたメッセージは、個別に先生方にご連絡させていただきました。

アンケートにご協力をいただいた卒業生の方には、厚く御礼申し上げます。卒業生の皆様のご健康とご活躍を祈念しております。